



川口市立芝樋ノ爪小学校

川口市芝樋ノ爪 2-10-48

☎048-266-5265

芝樋ノ爪小だより 2月号

<https://shibahinotsume.edumap.jp>

令和3年1月29日

めざす学校像「明るく元気なあいさつと笑顔があふれる、きれいで楽しい学校」

おおきくなるっていうことは

校長 若林 茂

節分と言えば2月3日ですが、今年の節分は、2月2日です。節分が3日ではないのは1984年2月4日以来37年ぶり、2日になるのはなんと1897年2月2日以来124年ぶりのことです。これは、地球が太陽の周りを一周するのに365日と約1/4日かかることに関係があります。このことから今年の立春が2月3日になり、節分は立春の前日ですので、今年の節分は2月2日ということになります。節分には豆まきをして邪気を払いますが、今年は、コロナ禍の収束を一番に願いたいと思います。

さて、1月の「PTA読み聞かせ」は、緊急事態宣言が発令されたため、保護者の皆様には登校をご遠慮いただきました。準備をされていた担当の皆様、申し訳ございませんでした。どうか次の機会にお願いいたします。この日の6年生の担当は私でしたので、6年生のみ行いました。選んだ本は、『おおきくなるっていうことは』中川ひろたか（文）、『どんなかんじかなあ』中山千夏（文）の2冊です。2冊とも大好きな絵本です。1冊目の『おおきくなるっていうことは』は、「おおきくなるっていうことは ようふくがちいさくなること」から始まり、「・・・とびおりても だいじょうぶかどうか かんがえられるってことも おおきくなるってこと」「・・・じぶんより ちいさいひとがおおくなるってこと」「・・・ちいさいひとに やさしくなれるってこと」などと続いていきます。6年生は、始めは少し笑いながら聞いていましたが、段々何かを考えながら聞いているように見えました。私は読み終わると、「ちゃんと大きくなっていますか」「小さい人に優しくなれていますか」「これからも下級生のよい手本になってください」と声をかけました。

私は、『おおきくなるっていうことは』を1年生にも聞いて欲しいと思い、1年生の担任の先生にそのことを伝えると、「お願いします」と許可が出ました。1年生は、「おおきくなるっていうことは、・・・」と読むと、一つ一つ、『うんうん、あるある』と、うなずきながら聞いています。反応が何とも可愛らしいです。「やさしくしてるよ」と声に出す子もいました。私が、「4月になるとみなさんは2年生になります。1年生が入ってきます。優しくしてくださいね」と声をかけると、「はい」と、元気のよい返事が返ってきました。1年生の反応もよかったので、2年生の担任の先生にもこの本を渡し、読ませてもらえないかと伝えました。「生活科で『わたしの成長』という学習をしていて丁度良い内容なので、ぜひお願いします」と許可が出ました。次の週に読み聞かせをすることになりました。2年生も、『うんうん、あるある』と、うなずきながら聞いていました。1年生と違うのは、自分のことと比べながら、思ったことを口に出している児童が何人かいました。担任の先生が、感想はありませんかと聞くと、数人の児童の手が挙がりました。一人目の児童は、「おおきくなるってことは、いろんなことができるようになることだと思いました」と答えました。二人目の児童は、「ぼくは、好き嫌いがあったけど、好き嫌いがなくなりました」と答えました。私ははっとして、「〇〇くん、おおきくなったんだね」「みんな一人一人がおおきくなっているようですね。この本の続きができそうですね。続きは、生活科で勉強しましょう」と、その場で思いついたことを子供たちに伝えました。子供たちの発言を活かしながら授業を進める。子供たちと一緒に授業を創る。文部科学省がやっている「主体的・対話的で深い学び」は、こんな些細なことの積み重ねが大切なものかもしれません。久しぶりに授業の楽しさを感じさせてくれた先生たちや子供たちに、感謝した読み聞かせでした。

3学期は、全校児童一人一人が、自分がおおきくなったことを、自信をもって言えるように、学習に取り組んでいます。